

みんなで支えあう 福祉のまちづくり

社協広報 2021.1 vol. **141**

発行 社会福祉法人
上富田町社会福祉協議会

〒649-2105
和歌山県西牟婁郡上富田町朝来 755-1
上富田福祉センター
tel.0739-47-4757 fax.0739-47-4731
Email k-syakyō@mb.aikis.or.jp
H.P <http://kamitonda.shakyo-w.jp/>

社協だより



謹賀新年

熊野の山・富田川に抱かれ
心安らかに健やかな暮らし
笑顔いっぱいの一年に

新年のごあいさつ

上富田町社会福祉協議会

会長 三栖 徹

明けましておめでとうございます。

皆様、お健やかに新春をお迎えの事とお喜び申し上げます。平素は社会福祉協議会の活動に深いご理解とご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は新型コロナ禍で始まった一年でした。今年もまだ対峙していかなければなりません。新型コロナに対する対応の仕方については一定の方向付けがなされてきたように思います。一日も早いワクチンや特效薬が届くことを祈るばかりです。

さて、当社協は介護保険事業に参画しています。平成七年に現在の社屋が建設され、その中にバリアフリーのお風

呂が出来ました。自宅にお風呂があっても家族の介助だけでは入れない状況の方々に利用してもらえようになり、これが関係者からとても好評でした。そのことも相まって、平成十二年の介護保険法の施行と共に介護保険事業に参入いたしました。運営も安定しておりましたが、平成三十九年度頃から経営が厳しくなりました。経営は人間にたえれば血液の循環にあたるものでとても重要なことです。それ

で早くから理事・職員と共に現状を分析し、経営課題をとらえ、その改善策を考え「経営改善計画」を策定しました。これに基づき、課題解決に向けて懸命に取り組んできたところ。こうした取り組みを通して、改善の見通しが立ち、令和二年度決算からは段々に経営成果が出てくると確信しています。

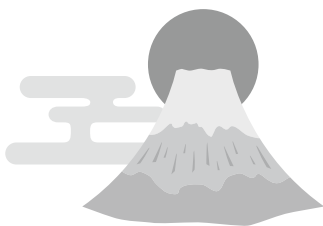
次に、地域福祉の推進であります。少子高齢化に伴う課題が顕在化してきています。一言で申し上げればニーズが多様化してきたことです。「食料等の緊

急的支援が必要な人」「住居確保の課題を抱える人」「サービス利用を拒否したり、生活上の課題に気づいていない人」等様々な課題があります。

町からの委託事業をはじめ協の事業の充実強化を図っていくとともに新たな事業も検討していかなければなりません。

町の基本理念である「住み慣れた地域で、いつまでも安心して生活する」この実現にいささかなりとも取り組み町民の皆様方のニーズに対応できるよう行政の指導を受けながら関係団体・関係の皆さんと連携を密にし、推進して参る所存でございます。これからもご指導とご協力をお願い申し上げます。

令和三年 元旦



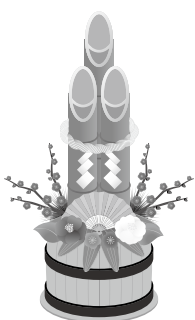
謹賀新年

本年も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

会長	三栖 徹
副会長	木村 孝士
〃	山本 陽子
理事	芦口 力
〃	檜木 正行
〃	坂口 照代
〃	谷口 英大
〃	坂本 巖
〃	森 千明
〃	松井 孝恵
〃	藪内 博文
監事	福田 紘治
〃	平岩 修

社会福祉協議会

職員一同



デイサービス営業日変更のお知らせ

上富田町社会福祉協議会では、現在2ヶ所で通所介護事業所(福祉センターデイサービス及びデイサービスセンターくちくまの)を運営していますが、令和3年4月より下記の通り営業日を変更することとなりました。又、変更に際しましてご利用者様並びにご家族様にはご迷惑をお掛けし、大変恐縮ではございますが、職員一同万全の態勢を整え、皆様の信頼にお応え出来るようより一層の努力を重ねて参る所存でございます。今後とも引き続きご支援ご厚情賜りますようお願い申し上げます。

変更前休業日 . . . 日曜日・年末年始

変更後休業日 . . . 土曜日・日曜日・年末年始(令和3年4月以降)

令和2年度 高齢者サロン運営アドバイザー養成講座終了

この講座は、サロン活動(まちかどカフェ)ですすでに取り組んでいる方に、より一層充実した内容で運営出来るようプログラムやノウハウを学んでいただく事を目的に行い、今年度の講座は「新しい時代の高齢者サロンづくりに向けて」「サロンの目指すもの～今後あるべき姿～」 「サロンで役立つプログラム～お手玉・わらべうたで遊ぼう」「心と体の若さを保つコツとツボ」など講義と実技を4日間学び、今後もより一層充実した活動が出来るよう令和3年度も取り組んでいこうと考えています。



預けて安心！ 自筆証書遺言書保管制度

あなたの遺言書を法務局で大切にお預かりします。詳しくは、最寄りの法務局まで



ご自身の財産をご家庭へ確実に託す方法の一つとして自筆証書遺言を検討される方はぜひご活用ください。

本制度では、自筆証書遺言書に係る遺言書を法務局で預かることで、紛失等のトラブルが解消され、家庭裁判所の検認も不要となります。

法務局では自筆証書遺言に係る遺言書を保管する制度が新たに設けられ、令和2年7月10日(金)から運用を開始しています。

預けて安心！
自筆証書遺言書
保管制度

お問い合わせ先

和歌山地方法務局 田辺支局 0739-22-0698

令和2年度 「愛の日」事業 実施報告



特別養護老人ホーム「愛の園」



牟婁さくら園



上富田町民の皆様からご協力頂きました社協会費を財源として、民生児童委員さんが在宅訪問（181名）、社協理事の方々が町内の福祉施設（7ヶ所）を訪問し、愛の日の品をお届けしました。

善意のご寄付お礼

令和2年9月1日から令和2年11月30日まで社協へお寄せいただきました善意のご寄付です。厚くお礼申し上げます。

●満中陰の志として

田辺新庄町 堀 昌仁 様
生馬 田中 達也 様
生馬 塩地 明美 様
岩田 深見 昌子 様
市ノ瀬 山本登志充 様

●金一封として

朝来 中田 君子 様

●一般寄付として

清拭布 立平ボランティアグループ 様
市ノ瀬 玉置 洋子 様

・タオル 朝来 竹田 茂子 様

他にも匿名の方のご寄付を頂いています。皆様方のご芳志に感謝申し上げます。



心配ごと相談

令和3年1月～令和3年3月までの相談日

上富田町社会福祉協議会では、下記日程で午後1時～3時まで心配ごと相談所を開設しています。費用は無料で、相談内容の秘密は厳守されます。

相談は、相談員3名、事務局1名で対応します。

上富田町社会福祉協議会（上富田福祉センター） TEL 47-4757

上 富 田 福 祉 セ ン タ ー	1月21日(木) 2月18日(木)
市ノ瀬農村環境改善センター	3月18日(木)

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開設を中止する場合がございますのでご了承下さい。

たすけあいくちくまのステーション始動!

たすけあいくちくまのステーションとは??

事前に、「支援を行います」と登録していただいた住民のボランティアの方（提供会員）が、支援の必要な方（利用者）からの要望に対して、ボランティアの範囲内で支援を行うというものです。



（利用できる方は上富田町内にお住まいの方で・・・）

- 夫婦いずれかが65歳以上でかつ同様の援助を行えない世帯
- 65歳以上の独居世帯
- そのほか町長が特に必要と認めた世帯



ボランティアさんの支援下、
庭等の草引き・庭木の剪定・
小屋裏の雑草整理等
行ってくれています・・・



種 類	内 容	料 金 (30分あたりの活動費)
庭等の除草・枝のカット	庭等の草抜き・庭木のカット(手でできる範囲)	700円
庭等の草刈	家の庭または周辺で、草刈機を使って行う範囲	700円
住居の清掃	本人が住んでいる家の掃除	300円
衣類等の洗濯	洗濯物を干す等	200円
住居の掃除と洗濯	洗濯物を干す、掃除等	500円
ゴミ出し	ゴミを出す	200円
電球交換	住んでいる家の簡単な電球交換(かさの掃除込み)	500円
縫い物・ボタン付け等	洋服等のボタンつけ等	300円(材料費別)
墓掃除(地域限定)	墓周辺の掃除(日常的なもの)	500円(花代等別)
家具の移動	本人が住んでいる家具の移動(2人程度で運べる物)	500円
話し相手	話し相手	200円
包丁研ぎ	包丁を研ぐ	300円

※ 支援提供日:月曜日～金曜日の午前9時～午後5時まで(土・日・祝日・年末年始は行いません。)

※ 作業内容については:プロが行うのではなく、あくまでボランティアさんが行える範囲となります。

コロナに負けない。。。！ 町の元気人

“地域にはき☆ら☆り☆と光る人がいる”



向島祭オンラインライブペイント

山本 祐也 氏

上富田町市ノ瀬に生まれ17歳から抽象絵画を始める。様々な賞を受賞、最近ではアートのデザインを活かしてTシャツやカレンダーの制作にも取り組み、主にローラー技法を使い作品を制作しています。



オンライン授業の様子



インタビュー



二年半前から絵画活動や社会的視野を広げるため京都で生活していましたが、今回のコロナ禍で上富田に帰ってきています。

京都で生活中ご縁を頂いた京都文教大学の臨床福祉実習という授業で、障がい当事者の生活体験などの発表をしてきました。

地域参加型のイベントでは、めたくリアートワークショップを開催し地域の子も達との交流も行っています。

この活動により自分の絵画制作活動の中でまた新しい扉を開けられたと大変嬉しく思っており、これからも絵画を通して、ボランティア活動や社会参加地域発信を行っていきたくと熱い思いを抱きました。

表紙写真提供者 田上 盛一 氏